

令和4年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	2. 総務費	大事業	2. 秘書一般事務費
項	1. 総務管理費	中事業	
目	1. 一般管理費	担当所属	秘書課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額
経常	単独	通常	0	0	14,833		令和3年度
							令和4年度
							令和5年度
							令和6年度
							令和7年度

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額		
本年度当初査定額		19,539

財源内訳	一般財源
本年度当初要求額	0
本年度当初査定額	19,539

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) ・市長、副市長の秘書事務を行うとともに、市政の発展等に顕著な功労のあった者等の表彰を行います。</p> <p>・市長、副市長車等の運行管理業務を委託するとともに、リースした公用車を管理します。</p>	<p>(事業の目的) ・市長、副市長が滞りなく公務に従事できるよう日程管理等を行うことにより、適正な市政運営に資します。また、市政の発展等に顕著な功労のあった者等を称え、表彰することにより、さらなる市政発展に資します。</p> <p>・運行管理を業務委託することで市長、副市長等の公務を安全かつ効率的に遂行します。</p>	<p>(事業の効果) ・市長、副市長の出張等に伴う諸事務(日程調整や交際費の支出等)を適正に処理し、市長、副市長がより効率的に滞りなく公務に従事できるようになります。また、市政発展等に顕著な功労のあった方々の発掘に努め、その方の功績を称えることにより、さらなる市政発展につなげることができます。</p> <p>・運行管理業務を委託することにより、安全で安定的な公務を遂行することができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点)</p>	<p>(前年度からの見直し点) 通常一般経費では、報償費、特別旅費、役務費を実態に応じて増額した。準義務的経費では、委託料を実績に応じて、1,320千円減額した。</p>	<p>(見積についての特記事項) 予算要求をする中で、特別旅費をシーリングの算定に算入することは、積算の上で公平性に欠ける。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
07	445	410	35
08	829	715	114
09	1,300	1,300	0
10	507	507	0
11	76	62	14
12	12,619	13,939	△1,320
13	2,013	2,052	△39
18	1,750	1,762	△12

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
差引一般財源								0	19,539	0	19,539